

## 2021 年度金曜 Re アワー・レポート

甲南大学学生相談室 渡 里 千 賀

学生相談室では、「金曜 Re アワー」という学生向けの体験型のグループ活動を、毎週金曜日の4限に開催している。後期に対面授業が段階的に再開されたとはいえ、コロナ禍の影響はまだまだ残っており、学内会食禁止のため料理プログラムはできないなど、従来通りの活動をそのまま復活させることが難しい状況であった。安全にグループ活動を実施するために、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底を心掛けた。内容は、完全予約制、参加者の連絡先の確保と、入室時の検温と体調チェック、手洗い、手指の消毒と常時マスク着用、活動中の休憩と水分補給の時間の確保、定期的な部屋の換気、対人距離の確保、備品やドアノブの消毒、透明アクリル板の使用である。その成果があり、対面でのグループ活動を、今年度は年間を通して何とか無事に提供し続けることができた。

活動場所は主にサロン室を使用し、必要に応じて講演室、和室、音楽療法室、園芸療法スペースに移動している。筆者がグループの企画・運営を担当し、プログラムの内容によって、カウンセラーの青柳、西浦、篠田が加わっている。さらに、事務スタッフの田中がサポートしてくれている。

プログラムの内容、参加者数の概要については表1にまとめている。集団活動を安全に実施するため、今年度のプログラムは昨年に引き続き調理と飲食は行わず、主に制作と野外でできる活動を計画した。今年度は前期15回、後期15回、年間30回実施した。のべ参加者数は前期46人、後期87人、年間133人、平均参加者数は4.4人であった

(表1 参照)。前期開始当初は、参加人数はあまり多くなかったが、6月の陶芸プログラムから中高年世代のリカレント生<sup>1)</sup>が誘いあって参加するようになった。5人のリカレント生が継続して参加し、年間のべ参加人数は39人であった。9月30日に4回目の緊急事態宣言が解除され、本学でも対面授業が制限付きではあるが再開したため、9月～10月の参加人数は大幅に増加した。

プログラムについて、新しく導入したものを中心にピックアップして報告する。コロナ禍の中、マスクの着用、消毒スプレーの携帯といった普段から自分を守るための新習慣が学生たちにも浸透しており、Re アワーでも衛生面をテーマにした小物作りをプログラムの中に取り入れてみた。その中の一つが「手作りマスクカバー」である。型通りに切り取ったプラスチック製のランチョンマットにスナップボタンを付けたもので、食事時など少しマスクを外したい時の一時的に仮置き場として使うことができる。見た目にもカラフルで、「母親にあげたら、美容院でおしゃれだと褒められたらしい」と後に学生が嬉しそうに話してくれた(写真1)。



写真1 マスクカバー作品

次に「宝石石鹸を作ってみよう」について報告する。5月に「手作り石鹸を作ってみよう」を実施したが、1回のセッションでは時間が足りなかったため、10月は2回シリーズで開催した。グリセリンソープを溶かし、食紅や顔料で着色し、アロマオイルで香りをつけ、自分の好みの石鹸を作っていく。縞模様やマーブル模様にしたたり、粉を振りかけることで、リアルな模様やデザインを施すことができる。鉱物や天然石のような作品に仕上げることができるので、男子学生にも好評であった。(写真2)。

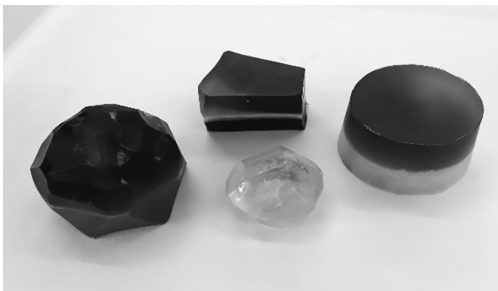


写真2 宝石石鹸作品

最後に「手作りランプシェード」について報告する。ふくらませた風船の表面に和紙を木工用ボンドでペタペタと貼っていく。固まってから割った風船を取り出すと完成である。内側に電球を入れると、和紙ならではの温かみのある幻想的な光が楽しめる。クリスマスに使用したいとレンガと猫をモチーフにしたもの、ブドウや野イチゴなど具象物を描いたもの、丸や四角を重ね貼りし抽象的な作品に仕上げたものなど、9人の学生がそれぞれ



写真3 ランプシェード制作風景

個性豊かなデザインの作品を制作していた(写真3・写真4)。



写真4 ランプシェード作品

今年度の特徴の一つに、前述したリカレント生の参加が挙げられる。これらの参加者は授業だけでなく、大学の施設を意欲的に利用し全力で楽しもうとしていた。現役の学生にも積極的に話しかけ、活発な交流が持たれた。初めのうちは学生たちも少々戸惑っていたようだが、その後快く応対し、相互的なコミュニケーションに発展する様子が見られた。園芸活動でのシャベルの使い方のコツをリカレント生が教え、スマホでのきれいな写真の撮り方を学生が教えるという場面や、昭和ポップスに関心のある学生が、リカレント生たちと昭和のアイドルについて楽しそうに盛り上がる場面が見られた。互いを尊重しながら刺激を受けあう異世代交流には大きな意義があり、Reアワーがそういう交流の場となれたことはよかったと思う。

また、後期に参加者が増加したが、彼ら是对面での活動と友達作りを強く欲しており、コロナ禍前の参加学生と比べると、意欲的で社会的であった。他の場所にも積極的に足を伸ばすことができる力を持っており、自分に合う活動場所や交友関係を得るまでの居場所としてReアワーを利用したのではないかと考える。その中でReアワーを居場所を選んだ学生がリピーターとなり、11月以降主力メンバーとして活動した。今後も学生の様々なニーズに合わせ、選択的に利用できる場として、Reアワーの充実化を図っていきたい。

表1 2021年度 Reアワー活動一覧

	実施日	プログラム内容	担当者	参加者数
	前期			
第1回	4月9日	学生相談室見学ツアー	渡里・田中	1
第2回	4月16日	コラージュを作ろう	渡里・田中	2
第3回	4月23日	アロマスプレー作り	篠田・渡里・田中	2
第4回	4月30日	手作りマスクカバー	渡里・田中	2
第5回	5月7日	新緑の川沿い散歩を楽しむ	西浦・渡里・田中	2
第6回	5月14日	手作り石鹸を作ってみよう	渡里・田中	1
第7回	5月21日	春のガーデニング①	渡里・田中	1
第8回	5月28日	春のガーデニング②	渡里・田中	3
第9回	6月4日	七輪陶芸①「成型」	青柳・渡里・田中	5
第10回	6月11日	ダーツに挑戦！	青柳・渡里・田中	5
第11回	6月18日	七輪陶芸②「彩色」	青柳・渡里・田中	5
第12回	6月25日	七輪陶芸③「焼成」	青柳・渡里・田中	5
第13回	7月2日	切り紙アート	渡里・田中	4
第14回	7月9日	絞り染めをしてみよう	渡里・田中	6
第15回	7月16日	ジェンガでドミノ	西浦・青柳・渡里・田中	2
	小計			46
	後期			
第1回	9月24日	アロマスプレー作り	篠田・渡里・田中	11
第2回	10月1日	宝石石鹸を作ってみよう①	渡里・田中	11
第3回	10月8日	宝石石鹸を作ってみよう②	渡里・田中	11
第4回	10月15日	手作りランプシェード	渡里・田中	9
第5回	10月22日	秋の収穫を楽しもう	渡里・田中	14
第6回	11月5日	ダンスでエクササイズ①TRF編	渡里・田中	3
第7回	11月11日	ダンスでエクササイズ②アニソン編	渡里・田中	1
第8回	11月19日	石ひろい	西浦・渡里・田中	3
第9回	11月26日	デコパージュ	渡里・田中	3
第10回	12月3日	トーンチャイム①	渡里・田中	3
第11回	12月10日	トーンチャイム②	渡里・田中	4
第12回	12月17日	エコクラフト	渡里・田中	3
第13回	12月24日	クリスマス・アレンジメント	渡里・田中	3
第14回	1月7日	書き初めをしよう	青柳・渡里・田中	3
第15回	1月14日	マンダラ塗り絵	渡里・田中	5
	小計			87
	合計			133

## 註

1) リカレントとは学校教育からいったん離れた社会人の学びなおしの教育システムのこと。

甲南大学では2020年度にリカレント教育センターが開設され、2021年度から履修証明プログラムが開始している。